

発行日 平成18年11月1日

発行者 (有)池田食品工場

代表取締役 池田一夫

ハローランチいけちゃん

電話 0897-33-8311

FAX 0897-33-8319

E-Mail: info@ikechan.co.jp

オリジナルようちえん給食をご利用頂いているお客様へのお知らせです。



もくじ

- ①菊本幼稚園芋掘りニコースと
- ②小豆島のどでかぼちゃ日本一大会に参加して来ました。日本一と一緒にポーズ
- ③ゆうちゃん倶楽部を開設します。
- ④泉幼稚園「突撃インタビュー」

菊本幼稚園

お芋掘り

3日間であつまいも全滅

今年も、恒例のサツマイモ掘りが始まりました。第一陣は菊本幼稚園さまです。学年ごとに船木の畑に芋掘りにこられました。3日間で畑中のサツマイモを根こそぎ掘って帰られました。猪よりも恐ろしい勢いで収穫していました。大きな芋が出てきたり、掘り出せた時には歓声が上がったり、掘り出せた時には歓声が上がったり、涙してとても楽しく過ごして頂きました。



来年も菊本幼稚園の青い「ウリボウ」様ご一行の襲撃をお待ちしています。



9月24日小豆島で開催された「第20回どでかぼちゃ日本一大会」に参加してきました。今年の日本一は357kgでした。

当社農業担当者 児玉篤の決意

はじめてどでかぼちゃ日本一大会に参加した児玉は、大会に参加してどでかぼちゃ作り名人に一生懸命「栽培秘伝」を聞いていました。帰りの車の中で「来年は10位以内に入賞します。」とかぼちゃが入りそうなくらい大きく鼻の穴を膨らませていました。来年は入賞報告を予定しています。



管理栄養士

ゆうちゃん倶楽部員

募集中!

当社が幼稚園給食に関わり始めてもう4年になります。その中でアレルギーを持つ子どもさんのお母さんと年に一度以上お話をしますが、皆さん子どもさんに安全な食材を探す為に大変な努力をされています。

いけちゃん農園からのご提案ですが、先のような理由から安全な食材を必要とする保護者と子どもさんに当社の有機栽培の畑の農作業を手伝って頂き、その労働報酬として畑野菜をお持ち帰り頂くというのを考えています。週に延べ8時間作業して頂く、2人なら4時間で済みます。当社農業担当者と一緒に作業するので作業予定を打ち合わせて頂きます。

新たな試みですから、興味のある方のご意見を承りながら実現して行きたいと思っております。担当 中島ゆう子まで

ゆまぢやんの 突撃インタビュー 泉幼稚園

9月のある日、新居浜市にある泉幼稚園の園長先生に幼稚園で取り組んでいる食育について伺いました。



泉幼稚園は教室に面したグラウンドに真のような花壇がずらりと並んでいますが、一年中、色とりどりの植物が植わっています。先生の話によると幼稚園のグラウンドには野菜が半分、花が半分で植わっているそうです。「えっ？野菜?!」と思いましたが、そういえばいつも畑に園児がいた覚えがあります。畑以外にもプランターにも植えてあります。今の時期は茄子、ピーマン、トマトがすくすく成長しています。

また、最大の特徴がグラウンド内に畑があることです。園児は毎日野菜たちの成長を間近に見ることが出来ます。いちごは『見つけた子が洗って食べる。』となっているので登園すると、恒例のいちごCHECKが始まります。園児にとって一つの楽しみですね。



『味覚の形成』  
たくさん収穫できた野菜は先生たちが調理し、みんなで食べます。自分たちが成長を見てきた野菜には愛着があります。しかし、一番に新鮮だということ。採りたての野菜はスーパーにあるものとは味が違います。なので、普段野菜を食べられない子どもも食べるそうです。ピーマンは生でぱりぱりと食べます。ちよっと信じられないのですが本当です。

『365日。毎日食育』

畑を最大限に活用し、イモの収穫が終わると、冬野菜のブロッコリー・カリフラワー・ほうれん草などの菜っ葉が植えられ、収穫できると園児と一緒に加工調理し食べるそうです。



泉幼稚園は行事として食育を取り入れているのではなく、普段、園児が接するものから自然に食育が取り入れられています。お話を聞き、日常に密着している食育も良いなと思いました。



また、新居浜友の会の食育講習会もしているそうです。

『いけちゃん畑訪問!』

幼稚園では育てるのが難しい、根菜類などは当社の畑の収穫をお手伝いしに来てくださるそうです。当社の農園担当者も首をながくしてお待ちしております。

